

## はじめに

平成30年度筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻博士前期課程修了者の修士学位論文抄録集を刊行いたします。本研究科の定める学位論文（修士）の審査基準では、研究テーマの意義、先行研究の把握と理解、研究方法の妥当性、結論とそれに至る論理の妥当性、体裁・構成の適切さ、文献・資料の適切な引用のすべてが妥当もしくは達成されたと認められる学位申請論文を、最終試験を経た上で、修士論文として合格とするとしております。そのような審査を経て合格と認められた修士論文の抄録集には研究科の多様で先端的な研究の成果が集結しております。論文完成に至るまでの大学院生各位の努力を讃えるとともに、指導教員、副指導教員や査読者を始めとする論文作成に関わられた教員各位および学生の研究活動を支えられた支援室の職員の方々に感謝申し上げます。

図書館情報メディア研究科は、「情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を発展させ、新しい時代に向かって社会をリードする人材を養成」することを使命としてかけ、社会における知識・情報の共有や、その仕組みとしての図書館や情報ネットワークを対象にした、人文学、社会科学、理工学等の多様なアプローチからの総合的・複合的な教育研究を行っております。そのような多面性を実現し、かつ大学院教育の実質化を推進するという観点から、本研究科博士前期課程では、修士（図書館情報学）と修士（情報学）の2つの学位に対応した教育プログラム、および修士（図書館情報学）に対応した社会人向けの図書館情報学キャリアアッププログラムと留学生向けの図書館情報学英語プログラムを提供しております。今年度は、こうした教育課程で学んだ大学院生58名（うち修士（図書館情報学）22名（図書館情報学英語プログラム1名を含む）、修士（情報学）36名）が修士の学位を取得しました。

博士前期課程の修了生は、公的機関や企業等で図書館情報メディアに係る専門家として実務に携わるもの、将来この領域の先駆的な研究者になるべく博士後期課程に進学するものなどさまざまです。どのような職であれ、修了者各位が本研究科で学んだことや修士論文を完成させるまでの研究生活の中で得た知見を活かし、知識情報社会のフロンティアとして今後活躍されることを、教職員一同、心より期待いたします。

平成31年3月

図書館情報メディア研究科長 中山 伸一

## 目 次

《 修士（図書館情報学） 》

川 口	愛	ファッション商品購買の際に消費者が利用する情報 —スマートフォンを利用した実店舗内での情報探索を中心に— ……………	1
小 林	俊 貴	JAIRO Cloud導入前後における機関リポジトリのオープンアクセスコ ンテンツ利用 ……………	2
小 林	諒 也	効果音を取り入れた絵本読み聞かせワークショップの開発 ……………	3
末 岡	真 里 奈	繋がり of オンラインエスノグラフィ：吹奏楽部員のTwitter利用に着目 して ……………	4
鈴 木	友 里 亜	虚構からの知識獲得を扱うための哲学的虚構論の検討 ……………	5
田 中	鞠 衣	『題詠俳諧明治千五百題』について —同時代の類題句集との比較によ る考察— ……………	6
西 川	啓 子	公立図書館未設置市町村への支援から見る県立図書館の役割：茨城県を 事例として ……………	7
牧 田	眸	大学図書館における留学生サービスの国際比較 ……………	8
松 崎	愛	BL書籍を読みつづける理由 —読者がもつセクシュアリティ観に着目して— ……………	9
三 島	悠 希	図書選択を利用した個人別態度構造分析の提案 ……………	10
三 末	千 尋	霊園の史的研究—都立霊園を中心に— ……………	11
宮 本	温 子	文芸投書雑誌『文庫』『新声』にみられる「地方文壇」の青年たちの地 方意識と「中央文壇」へのまなざし —小木曾旭晃と入澤涼月の事例を中心に— ……………	12

XU WENLAN	中国の公共図書館におけるソーシャルメディアの利用実態……………	13
叢 艶	唐詩の構造化に関する研究 — Linked DataとTEIマークアップを用いて —……………	14
FENG YUTING	高齢者の第三の場としての公立図書館 —つくば市立中央図書館を事例として—……………	15
盧 仁 吉	中国における高齢者の生涯学習に関する公共図書館の役割 —杭州図書館を事例として—……………	16
上村 美紗希	公共図書館における地方行政資料サービスの研究 —活動方針と実践の比較から—……………	17
齊 藤 涼	中央図書館制度に関する研究 —アジア・太平洋戦争期における公共図書館の統制と振興—……………	18
中川 潤 紀	高等専門学校図書館の運営とサービス……………	19
陶 穎	中国の大学における図書館情報学教育の現状と課題 —武漢大学信息管理学院を事例として—……………	20
W I N D A M O N I K A	A Study on a Metadata Model of Cultural Heritage Digital Archives as an Intellectual Creation by Memory Institutions……………	21
横 田 茜	江戸時代の動物観 —誹風柳多留』を中心に—……………	22

《 修士 (情報学) 》

伊藤	達哉	継続的利用を考慮したセルフメンタルヘルスケアシステムの研究 ……	23
内田	早紀子	日常の活動を題材とした小学生向けプログラミング的思考の育成ツール ……	24
岡田	拓也	DTDに関して充足不能なCSS規則の検出 ……	25
加藤	奈津実	<b>Creative Clothes Design Process by Collaboration between Human and Machine Intelligence</b> ……	26
神澤	義人	引用コンテキストに基づく高影響論文の推定に関する研究 ……	27
河合	公美子	音声による第二言語会話支援の一検討 ……	28
川口	晴会	物語展開を考慮した小説データからの表紙の自動生成 ……	29
川村	涼太	<b>Computational Personalization through Physical and Aesthetic Featured Digital Fabrication</b> ……	30
菊池	祥平	<b>Sparse modeling of test scores for estimating skills acquired by students</b> ……	31
金城	良大	メタデータのグラフ構造を利用したメタデータタームの類似度算出手法 ……	32
小池	栄美	アニメーション映画のキャラクター表情と情動表現に関する研究 ……	33
小林	正樹	クラウドワーカの品質改善における参考回答提示の短期的・長期的効果 ……	34
社本	和磨	残響下における会話音声ワーキングメモリに及ぼす影響 —図書館における静けさと賑やかさの共存を目指して— ……	35

菅原	知倫	部分グラフ同型問題と模倣関係の融合的アプローチ	36
高澤	和希	Development of user interface system using magnetic force by digital fabrication technology	37
辻	和徳	Clustered Shape Matching法における再破断までを考慮した高速な破断面生成	38
豊田	将平	LODデータセット生成の自動化のための宣言的記述による半構造化データの抽出とその統合手法	39
野崎	祐里	オンラインショッピングにおける商品選択行動のモデル化に関する研究	40
橋爪	智	The Remote Controllable Electric Wheelchair System combined Human and Machine Intelligence for Caregivers and Care Receivers	41
橋本	大空	クラウドソーシングにおける参加率と活躍度を考慮したタスク割当て手法	42
平松	淳	文字分散表現に基づく辞書情報を活用した固有表現抽出器の学習に関する研究	43
福山	怜史	マイクロブログにおけるトピック出現量の時系列変化の抽出に関する研究	44
保科	みず希	手続き学習としてのタッチパネル操作の習得に関する心理学的研究	45
宮原	捺希	テニスにおけるモーションキャプチャからのパターン発見	46
若狭	健太	声帯振動に着目したオペラと合唱歌唱の特性比較	47
渡辺	拓希	多相流体シミュレーションを可能とする非圧縮性SPH法の開発	48
OOI CHUN WEI		Optimization of Computer generated holography rendering and optical design for a compact and large eyebox Augmented Reality glass	49

GUO ZIXUAN	エージェントによる第二言語会話支援の研究	50
GU YouQi	エージェント共食システムにおける同期手法の検討	51
Z H A N G J U N J I A N	Enhancing Interaction Capability for VR Handheld Controllers: Exploratory Approaches using Swept Frequency Capacitive Sensing and Vision Sensing in Real-time	52
陳 浩 林	移動ロボットの為の意識モデルと顔記憶機能に基づくCPU・バッテリー の有効利用と親近感の向上	53
CHEN TAIRUN	情報型クエリのためのアンカーテキスト検索モデル	54
LIAO WEI	第二言語会話における話速の影響を考慮した支援の研究	55
LYU JIAYI	移動ロボットのための顔インタフェースを利用した動作予告に関する 研究	56
柴 田 尚 樹	非タスク指向型対話システムでの話題同定のためのコーパス構築に関 する研究	57
中 川 稜 介	歩行時の筋活動パターンの可聴化	58